

2013年5月5日 (第154号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



# カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉
パンの形の中に
キリストを見るように
努めなから
私たちは一日を始め
私達は一日を始め
す。
日中は、貧しい人々
の疲れた体の中におら
れるキリストに出会う
ために出かけます。

## 祝 新教皇 フランシスコ誕生

立ちのぼる飲びの白煙
第206代教皇選出



新教皇が選出された。3月13日、コンクラーベ(教皇選挙)の5回目の投票だった。アルゼンチンのフェルナンド・フランシスコ・ポロ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿(76歳)が中米出身で初めて、イエズス会員。新教皇名は「フランシスコ」を名のった。

はばたき
今年の復活祭は桜の満開の中で迎えた。教会隣の幼稚園庭、見事な花々の雲のような重なり、美しさにたすをのんだ。こんなに満開の時期と重なることは珍しく、今年特別な意味を持つ復活祭なのではないか、とふと思った。



日本の司教協議会会長の池長潤大司教は「新教皇はこれまでの牧者としての豊かな経験に基づき、福音宣教への強い熱意を以てこれからの教会を指導して下さるだろう」と私達は期待しております。パチカンから遠い高松教区だが、喜びを以て新教皇のために祈りましょう。

### 信仰年に寄せて⑤

宇和島教会担当司祭 田中正史



ANNO IN FEDE 2012-2013

信仰という内的行為を日本語では「神を信じる」という一つの言い方によって表明しますが、ラテン語では「神を信じる」という場合、次に三つの表現を区別して「信じる」この意味の奥深さを表しています。

「神を信じる」とはどのようなことなのか
「神を信じる」とは、神の存在とその権能を信じていることである。...

「神を信じる」とは、神の存在とその権能を信じていることである。...

「神を信じる」とは、神の存在とその権能を信じていることである。...

「神を信じる」とは、神の存在とその権能を信じていることである。...

「神を信じる」とは、神の存在とその権能を信じていることである。...

「神を信じる」とは、神の存在とその権能を信じていることである。...

「神を信じる」とは、神の存在とその権能を信じていることである。...

「神を信じる」とは、神の存在とその権能を信じていることである。...

## 高松教区 祝 司祭叙階記念

小豆島教会に40余年
岩永千一師
叙階 1953/12/22

想わされました。
神学生時代の兵
役免除と長崎での
被爆体験という2
度の死の回避。そ
れらを経て、司祭
に叙階されてから
はローマで学び、
その後、四国では香川県東
讃地区で宣教と司牧に携わ
り、長尾聖母幼稚園の初代
園長となり、小豆島の内海
に「マリア園」が設立され
ると園の側に住み、シ
スター方と在園者、園で働
きます。
松永 洋司

く方々の霊的世話をされる
と共に、小豆島教会の主任
司祭としての役務を長年に
わたり果たされました。
在島40余年、これからも
この地において、これまで
築いてきた関わりを大切に
生きたいとのこと。これま
での師のご苦勞を神様が嘉
せられ、豊かな祝福を賜ら
れますようお祈りいたしま
す。そして、これからも心
身共に健やかであらせられ
るよう重ねてお祈りいたし
ます。

はばたき
今年の復活祭は桜の満開の中で迎えた。教会隣の幼稚園庭、見事な花々の雲のような重なり、美しさにたすをのんだ。こんなに満開の時期と重なることは珍しく、今年特別な意味を持つ復活祭なのではないか、とふと思った。

### 金 祝誓願宣立記念

銀 祝誓願宣立記念



金祝Sr. セリナ前田



金祝Sr. 杉山明美



銀祝Sr. 合田慶子



銀祝Sr. 梅木信子

「神を信じる」とは、神の存在とその権能を信じていることである。...



高知県高岡郡越知町葉師堂の地に

### 横畠聖堂跡記念碑建つ

2013年1月15日

1月15日、中島町教会を11時過ぎの出発であった。高岡郡越知町の黒森山(1,017m)の中腹に開けた虹色の里・横畠(通称・葉師堂)に向った。前々日に降った雨の凍結を心配したが、山道の凍



このたび、山本有光氏が、横畠聖堂跡に立派な記念碑を建てられた。有光氏は、聖堂建設にかかわった「山本虎吾」の子孫の5代目です。高祖父(山本虎吾)が、キリシタン流人と出会ったとき、心の目にはキリストの姿が映っていたはず。そして、僻地の横畠(県下で最初の聖堂建設(教会は一番目)にかかわった高祖父の遺徳を敬われて、記念碑を建てられました。



「聖ヨゼフに捧げる」往時のカトリック横畠聖堂

### 明治期 高知の福音宣教の跡

横畠中(葉師堂)は、幕式では、聖堂閉鎖(昭和11年)から実に、77年目の聖歌「あめのきさき」を歌った。のどかな山里



### 《短歌でたどる歴史》一粒の種

山下 精三

山里に七十七年忘らるる 聖堂跡に記念碑建ちたり  
浦上の四番崩れ厳冬の山路はらぼろ流されて来し  
囚はれて死をも怖れぬキリシタン 遠流の果ての土佐に入り来ぬ  
繋かれしままの流人に飯与ふ山の旅籠の主人なりけれ  
あはれなる流人なれどもみなあやに美しくみゆ虎吾の目には  
弾圧の不当を思ふ益荒男の心の髪にひそむキリスト  
遊学の純志少年自づから霊名受けてセバスチャンとふ  
遊学のさらなる夢の叶はざれど里に導くキリストの教へ  
気骨者の祖父虎吾より受洗せよ遠路いとほず神父通ひ来  
黒森の山の中なる横畠流人の蒔きし種は芽生ゆか  
カリエスに純志は倒れ十八歳兵児帯姿すずやかにして  
虎吾また主立つ者に村長もありて村あげ聖堂は建つ  
修道女この地に生れて身を捧ぐ明治・大正・昭和にわたり  
戦前マニラ・台北・孤児院は高尾につくすマリア小須磨は  
街道の廃るままにキリシタン聖堂は閉つ昭和のはじめ  
高祖父と流人の縁とはに記し山本有光建つる報徳碑  
ありありと雪嶺見ゆる日なりけりみ空に祝別式の歌声

の空へ歌声が広がり、山本有光さんと山崎史朗さんによって、記念碑の除幕が行なわれた。祝別式のあとは、松山街道の要所として栄え、旅籠が七軒もあつた。そのころの明治2年12月に、長崎の「浦上四番崩れ」で、土佐藩へのキリシタン流人(116名)の内、先発の戸主



碑を祝福する神父とヒラン師

25名が雪の松山街道を護送されてきた。旅籠の主人山本虎吾は、その流人達に食事を与え、キリシタン信徒の死をも怖れない信仰の深さと、その美しさに心を打たれた。虎吾という人物は、一反半の畑を一人で掘り、今も残る用水池「虎吾掘

### 私たちは今どこに立っているのかを確認する

「高松教区信仰共同体の養成に取り組む」に際し、本教区の歩みを振り返る

諏訪司教着座

- 第二バチカン公会議 (1962~1965)**  
キリスト中心・神の民・対話の精神・社会との連帯・地方教会
- 日本の教会の基本方針と優先課題 (1984. 6. 22)**
- 基本方針 ①宣教共同体・キリストの福音を一人一人にもたらそう。②社会の中で弱くされた人々と共に福音の担い手になる。
  - 優先課題 ①宣教共同体に向かう ②協力体制 ③福音宣教推進全国会議開催 (NICE 1)

**第一回 福音宣教推進全国会議開催 (NICE 1) (1987. 11) 京都**  
テーマ「開かれた教会」

会議からの提案 柱1 日本の**現実・社会**と共に歩む教会・信仰養成  
柱2 生活を通して育てられる**信仰**・・・分かち合い  
柱3 福音宣教する教会**共同体**・・・社会に仕える教会

提案を受けて司教団からの答申「ともに喜びをもって生きよう」(1988)  
ナイス推進チーム設置・**信仰生涯養成チーム**設置・制度を考えるチーム設置

**第二回 福音宣教推進全国会議開催 (NICE 2) (1993) 長崎**  
テーマ「家庭の現実から福音宣教のあり方を探る」

会議からの提案・・・①分かち合いの推進  
②共感 共有出来る共同体・・・弱くされた人々への・・・  
③現実を識別して生きる信仰者の養成・・・個人から共同体へ  
④典礼の工夫・・・典礼の刷新  
⑤青少年(受け入れるための環境設定)  
(司教団から) 答申 家庭と宣教・家庭を支え福音を生きる教会共同体をめざして(1994)

**高松教区の動き 溝部司教着座 2004年7月**

- 2005年 司教教書・「聖霊による一致」(教区作りを目指して)
- 2006年 司教教書・「一致のために」(聖体の秘跡に生きる)  
司教教書・聖体の年にちなんで(上)「ともに献げるミサ」  
司教教書・聖体の年にちなんで(下)「主の日の意義について」
- 2007年 司教教書・「宣教に向けて歩む」(上)
- 2008年 司教教書・「**教区的一致と再生へむけて**」  
※司教との一致・協力宣教司牧態勢・RM神学院廃校について。
- 2010年 司教教書・「**高松教区三年後に向けて**」  
※第一回 福音宣教推進全国会議 (NICE 1) に答える。
- 2011年 年頭司教教書・新求道共同体「道」に関して。  
「高松教区三年後に向けて」(2008年11月)  
高松教区の方向性を確認し、今後の福音宣教について検討する。  
I 高松教区の優先課題・①協力宣教司牧の推進。

- ②青少年宣教司牧の活性化、協力態勢の強化
- ③召命への積極的な取り組み。教区民全体が物心両面で支援する。

- II 「高松教区 宣教大会 (2011年) に向けて3年間の準備に入る」
- イ) 1年目 (2009年) テーマ「教区現状認識の年」
  - ロ) 2年目 (2010年) テーマ「養成」・「神の民」とは? →各地区の「教区民の集い」
  - ハ) 3年目 (2011年) テーマ「宣教大会 (教区シノドス)」開催。
    - ①2009年1月「小教区代表者会議」  
(問いかけ)「**私たちはどんな教区、小教区を目指しているのか?**」  
※ (NICE 1) の提案に基づき教会の三本柱を生きる教会作りを提起。KJ法を使う。
    - ②2010年「各地区・教区民の集い」に向け、養成を通して、まず「神の民」とは? 今後の目標「私たちはこんな教会を作りたい」への(中間)確認の集い。
    - ③2011年「教区宣教大会」(於カテドラル)「私たちはこんな教会をめざします。」



**諏訪司教着座 2011年6月**  
目標:「**教区的一致と再生へむけて**」(どんな教会を目指すのか)「信仰年(2012.10~2013.11)にあたり、NICE 1の教会の三本柱である「信仰」をとりあげる。「神の民」が各自の生活の中に神の導きと恵みを発見する養成コースとして「ダイナミックメモリー」を実施。各自の「信仰の歩み」を振り返る。



教区目標に向け教会の三要素を一つずつ取り上げ、年毎の養成のテーマとする。

2012年 司教教書・「高松教区設立50周年にむけて」・信仰の年  
※今後の歩み「**意識 養成 組織**」がポイント協力宣教司牧・青少年育成



養成コース実行委員会

現在: 信仰共同体の養成に取り組む

2013年  
司教教書・「高松教区設立50周年にむけて」  
※これまでの感謝・信徒とは・信徒の霊性と養成・信仰養成の具体案。各ブロック司祭による「**養成コースチーム**」をたちあげる。テーマとして「**信仰共同体**」を取り上げる。復活祭後「みことばの分かち合い」を各地区(ブロック)で展開する。

教区スケジュール

Table with 2 columns: Date and Event. Includes dates from 7月 to 8月 with specific religious events like '福者ペトロ岐部と187福者殉教者' and '年間第14主日'.

典礼の重大さを実感

教区典礼委員会に参加して



教区典礼委員会は典礼的な行事のための実行委員会ではありません。典礼に関する養成委員会です。年間、4回開催している委員会ごとに公開講座も開催しています。前年度のテーマは「ミサ、その式文」でした。今年度も教会の2千年に亘る伝承に基づいて典範総則を読みながら、各現場での実践と適応を探っていきます。

「聴く」「捧げる」大切さ

四国における教会の組織を知らなかった私が、おこがましくも教区典礼委員会に出席させていただいていることに感謝しています。元担当司祭から「高松で典礼勉強会があるから勉強してください」と言われるままに参加し、回を重ねるごとに教区

ミサは神様との応答

教区典礼委員になって二年経ちますが、今だに知らないことが多いなど、典礼の勉強を通じて感じる今日この頃です。レナト教区典礼委員長のもとで勉強会を持ち、テキストを読むうちにこれはぜひとも自分の小教区でも読んで意識と知識の統一を図らねばと、自分の教会でも他の典礼委員と勉強会を開きました。

テキストは白浜満(聖スルピウス会司祭)「典礼をやさしく学ぼう」(※カトリック新聞連載記事)から『ミサの素晴らし』を使いました。これはとても易しい言葉で丁寧に典礼を解説しており、「ローマミサ典範の総則」も用いているため、総則についても理解することが出来るので一般信徒の皆さんにも是非読んでいただきたいものです。この中で特に注目すべきは、ミサ中の御言葉の祭儀が人間と神との対話によって成り立っているということだと思います。特に答唱詩編では神からの言葉が人間に向けられて語られる詩

今年も震災日に合わせて、支援コンサートが行われました。第一部、第二部と時間の過ぎるのも忘れ、出演者の方々の演奏は東北の被災者の皆様に對する祈りの心が届きそうな温かい演奏会でした。私は洗礼を受けていませんが、お誘いを頂き教会のコーラス「賛美の歌」の1員として信徒の皆様と聖歌をはじめ編と、人間から神に向かって答える答唱と成り立ち歌われる様は、まさに神との対話であることを如実に表しています。私は松山教会の典礼委員会の中では侍者を担当していますが、特に教区典礼委員として気付いた点を意見として出すよう任命時に委託されました。私たち侍者は司祭の傍から会衆席を見ているから、気付く点は沢山あります。その一つひとつを挙げる時が難しいので、気になるものをいくつか紹介します。まずは動作についてです。朗読担当者が毎週変わる教会では、動作の流れが統一されていないようです。また順路とおじぎの位置などについては、これは重要でないように思われがちですが、ミサ中に行われる動作にはそれぞれ意味があるので、司祭と打ち合わせしておく必要があります。

これまで典礼の勉強会に参加して一番に残ったのは、朗読前にする礼拝は会衆にではなく神の言葉である聖書に向かっているということでした。「これから、み言葉を伝えさせていただきます。」といったところでしょう。奉仕のうちに、教区典礼委員会 濱田哲夫

桜町聖堂で支援コンサート 3月10日 『東北へ届けー祈りの調べ』

今年も震災日に合わせて、支援コンサートが行われました。第一部、第二部と時間の過ぎるのも忘れ、出演者の方々の演奏は東北の被災者の皆様に對する祈りの心が届きそうな温かい演奏会でした。私は洗礼を受けていませんが、お誘いを頂き教会のコーラス「賛美の歌」の1員として信徒の皆様と聖歌をはじめ編と、人間から神に向かって答える答唱と成り立ち歌われる様は、まさに神との対話であることを如実に表しています。私は松山教会の典礼委員会の中では侍者を担当していますが、特に教区典礼委員として気付いた点を意見として出すよう任命時に委託されました。私たち侍者は司祭の傍から会衆席を見ているから、気付く点は沢山あります。その一つひとつを挙げる時が難しいので、気になるものをいくつか紹介します。まずは動作についてです。朗読担当者が毎週変わる教会では、動作の流れが統一されていないようです。また順路とおじぎの位置などについては、これは重要でないように思われがちですが、ミサ中に行われる動作にはそれぞれ意味があるので、司祭と打ち合わせしておく必要があります。



祈りのキャンドルサービス マリンバ演奏

新刊書籍紹介

■人はみな、けなげに生きている ■根本問題をつかめ!



一神は、もがき、悲しみ、苦しむ人ともにいる。人は弱く、傷つきやすく、人生は複雑で、時として残酷である。



キリスト教は何を問題にしてきたのか? どこに根本的な解決を求めようとしてきたのか? その力動性が、読み終わったあとに何らかの形で胸に残ってほしい

巧みなインタビューによって引き出される人生の重荷の数々。それらはすべて実話である。インタビューは、ただ静かに語る人の声に耳を傾けるだけであるが、語る人たちは安心して過去の人生の痛みを語る。どうしようもない人生の苦しみを体験した人びとが、生きていくための光と力を、一体、どこから、どのように汲み取ることができたのか。その心の内から語られる言葉は、貴重であり、読む人の心を揺さぶるにはおかない。本書は、月刊「家庭の友」に連載中の記事を単行本化したものです。定価: 1,260円(税込み) 著者: 森一弘 判型: B6判並製 172ページ 発行: サンパウロ

手伝いをいたしました。遠くから来られる出演者の皆様のために信徒の皆さんは何日も前から、そして当日も細かい心遣いをされている姿に接し、教会に於ける信徒さんの信仰の深さを感じた一日でした。尚、当日の皆様からの義援金は(東北)「高校生対象給付型奨学金『まはる基金』」へ寄せられました。 賛美の歌 石丸定子

Advertisement for 'TSC 第2回 さぬきうどん振舞い隊' (TSC 2nd Senuki Udon Dance Team). Includes details about the event date (6/7-11), location, and contact information.

Advertisement for 'カトリック通信講座' (Catholic Correspondence Course). Lists courses like '神・発見の手引' and '生きること・死ぬこと' with details on fees and enrollment.

本紙への広告掲載を募集しています。皆様のご協力を宜しくお願い致します! 教区広報委員会

編集後記: 今年の花は、桜の開花は5月13日。春の訪れは、早くも感じられる。...

Advertisement for '聖ドミニコ宣教修道女会' (Sisterhood of the Holy Dominicans). Features the text '神を觀想し、その実りを人々に伝えよ' (Contemplate God, and share His fruit with people).

Advertisement for '医療法人社団聖心会 阪本病院' (Medical Corporation St. Heart Society Sakamoto Hospital). Lists various medical departments and services.

Advertisement for '暁の星学園' (Akatsuki no Hoshi Gakuen). Promotes childcare services for children, including '鳴門聖母幼稚園' and '高知聖母幼稚園'.